



株式会社 **エフピコ**

証券コード：7947

# 第**53**期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



平素は格別のご高配を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第53期上半期の営業の  
概況につきましてご報告申し上げます。



代表取締役会長 (CEO)

小松安弘



代表取締役社長 (COO)

佐藤守正

＊営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、  
市況の影響による物価上昇等により実質可処分所得が  
伸び悩み、その他電力料金の高騰や天候不順の影響も  
あって4月の消費税増税以降消費は回復せず、厳しい  
経営環境となりました。

このような状況下、販売面では、「エフピコフェア2014」  
(平成26年3月開催)の成果もあり、新デザイン容器や  
新機能容器をはじめ、当社オリジナル製品(マルチFP、  
マルチソリッド、OPET透明容器、新透明PP容器)は、  
機能面での優位性(耐油性・耐熱性等)をお客様に評価  
いただき、リサイクル原料製品(エコトレイ、エコAPET)  
ともども販売数量を伸ばしております。特にPPSAシリ

ズ(新透明PP容器)は、従来品と比較して透明性が  
向上し耐熱性にも優れ、電子レンジ加熱による今まで  
にない商品開発が可能となり、小売店での新しい売り場  
づくりとともに採用が広がっております。汎用透明容  
器では、OPETフードパック、新透明PPフードパッ  
クの上市に加え、嵌合タイプの新透明PPフードパッ  
クからの切り替えを進めております。

一方で、汎用製品を中心とした価格競争は落ち着  
きを取り戻したものの、前第3四半期連結会計期間以  
降に汎用製品の一部で不採算取引から撤退した影響  
や、消費税増税による買い控えによる影響、天候不順  
による消費不振等もあり、当第2四半期連結累計期  
間の当社グループにおいて生産する製品の売上数量は  
前期比99.3%、売上高は前期比100.9%となりまし  
た。

また、当社グループ外より仕入販売する商品の  
売上高は、物流ネットワークの整備・充実と同時に  
商品調達力の強化と取扱量の増加に努めたことによ  
り共同配送事業先も増加しましたが、グループ会社  
で商流の見直しを行ったことにより、前期比96.9%  
となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は  
803億97百万円、前期と比べ1億17百万円の減収  
(前期比99.9%)となりました。

利益面におきましては、原材料価格が前第4四半  
期連結会計期間からもう一段値上がりしたことによ  
り、原材料コストが前期に比べ約7億円増加したほ  
か、電力料金の値上りによるコスト増加が約3.6億  
円、積極的に進めている設備投資等による経費の増  
加が約2.1億円となりました。他方、弁当・惣菜容  
器の販売が好調に推移したこと、グループ全体でコ  
スト改善に努めたこと、前期に実施した製品価格改  
定等により、利益改善は総額で約9億円となりまし  
た。コストの増加をカバーするには至らず、当第2  
四半期連結累計期間の経常利益は、前

期に比べ3億71百万円の減益となる47億41百万  
円(前期比92.7%)、四半期純利益は29億91百万  
円(前期比96.2%)、償却前経常利益では98億79  
百万円(前期比101.8%)となりました。

なお、当社グループの販売品目別の売上高概況  
は次のとおりであります。

分類	主要品目	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
製品	トレイ容器	13,884	17.3	100.6
	弁当・惣菜容器	42,605	53.0	100.9
	その他製品	3,271	4.1	102.9
	小計	59,761	74.3	100.9
商品	包装資材	16,078	20.0	95.4
	その他商品	4,556	5.7	102.7
	小計	20,635	25.7	96.9
合計		80,397	100.0	99.9

営業面では、前年度はお客様との価格改定の交  
渉に注力してまいりましたが、当期は、付加価値  
の高い新製品の開発と品揃えのスピードを加速し、  
当社オリジナル製品の販売構成を高めることによ  
り、売上高の増加と利益率の向上を図っております。  
また「株式会社みやこひも」を平成26年10月1日  
より「エフピコみやこひも株式会社」としてグル  
ープに迎え、包装資材用品の販売拡大を進め競争  
力を強化してまいります。

物流面では、前期の九州第二配送センター・関  
西第一配送センターの稼働に続き、平成26年8月  
には福山クロスドックセンターからの出荷を開始  
し、在庫保管効率の向上に加え出荷業務の大幅な  
改善が始まっております。新たな物流拠点である  
八王子配送センターは、平成26年9月末に一期工  
事が完了し同年11月末にはケース出荷を開始いた  
します。また、平成27年2月にはピッキング出荷  
機能の稼働を予定しており、さらに平成27年8月  
の完成に向けて二期工事が進んでおります。これ

ら物流設備投資により全国を網羅する強固で柔軟  
な物流ネットワークを構築し、メーカー調達から  
ユーザー様にお届けするまでの流通全体でのコス  
ト低減と安定供給を提供してまいります。

生産面では、従来製品から、当社にしかない素  
材によるオリジナル製品へのシフトを図るべく、  
平成26年4月にOPET透明容器のシート押出機2号  
機及び製品成型機4ラインを増設し、新透明PP容  
器生産ラインの増設も進んでおります。この他、  
社内の強みである競争力(価格・品質・機能)を持  
った新素材・新製品の研究や、製品開発のスピー  
ドアップと充実を図るべく、平成26年12月には  
開発研修棟が完成予定です。

平成26年6月には、西日本ペットボトルリサイ  
クル株式会社を連結子会社とし、PETリサイクル事  
業の拡充を図っております。

さらには、中部PETリサイクル工場エリアにお  
いて、APET製品及びOPET製品の生産工場を建設し、  
回収したPET透明容器やPETボトルからリサイ  
クルPETフレックを生産し、シート押出を経てエ  
コAPET製品を成型する一貫生産拠点の稼働を  
目指しております。

今後の見通しにつきましては、消費税増税によ  
る消費者の動向、為替の変動などによる原材料コ  
ストの上昇や電力料金の値上がりなど、当社グル  
ープをとりまく経営環境には、予断を許さない状  
況が続くものと予想されます。

このような状況下、当社は、新製品の開発と品  
揃えのスピードのさらなる加速、全国を網羅する  
物流ネットワークを活用した流通全体でのお客様  
へのコスト低減の提供及びリサイクル原料製品の  
販売の拡大などにより、中長期的に安定して利益  
を獲得できる体制を強化してまいります。

株主の皆様には、何卒、一層のご指導ご鞭撻を  
賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

## 四半期連結財務諸表

### ★ 四半期連結貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部	
科目	金額
流動資産	77,932
固定資産	118,386
有形固定資産	110,926
無形固定資産	1,544
投資その他の資産	5,914
資産合計	196,318
負債の部	
流動負債	69,161
固定負債	44,759
負債合計	113,920
純資産の部	
株主資本	81,309
その他の包括利益累計額	683
少数株主持分	404
純資産合計	82,397
負債純資産合計	196,318

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ★ 四半期連結損益計算書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	80,397
売上原価	58,457
売上総利益	21,939
販売費及び一般管理費	17,915
営業利益	4,023
営業外収益	929
営業外費用	211
経常利益	4,741
特別利益	38
特別損失	133
税金等調整前四半期純利益	4,646
法人税、住民税及び事業税	1,753
法人税等調整額	△100
少数株主損益調整前四半期純利益	2,993
少数株主利益	2
四半期純利益	2,991

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ★ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,079
現金及び現金同等物の増減額	103
現金及び現金同等物の期首残高	16,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,256

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



### 新製品案内

## 容器に入れたまま 電子レンジで加熱できる 「PPSA」が注目されています

生活者の食のニーズは多様化し、店頭に並ぶ簡易食品容器にも多くの機能が求められています。

耐熱透明容器PPSAは、PP素材の特長である「耐油性」「透明性」に加え、電子レンジの高温にも耐えられる「耐熱性」を兼ね備えています。

### 耐熱性

耐熱温度は110℃まで対応しており、容器のまま電子レンジで温めても変形しづらい仕様です。



### 透明性

従来のPP素材よりも透明感がアップし、食品のおいしさもひと目でわかります。



### かん合性

蓋と本体のかん合部分が簡単にパチッと密閉できるので、お客様のテイクアウト時にも便利です。



### 簡単調理

生肉や鮮魚も電子レンジで直接調理し食べられるので、後片付けの手間も減らせます。



### 多彩な商品ラインアップを取り揃えています

さまざまな食品を盛りつけられるPPSA仕切のほか、汁漏れしにくい内かん合や折船形など、さまざまな商品を取り揃えています。



▲ PPSA仕切



▲ PPSA折船



▲ PPSA角内嵌合



▲ PPSA丸内嵌合

## 福山配送センター内に「福山クロスドックセンター」が完成

平成26年7月、福山配送センター内に「福山クロスドックセンター」が竣工しました。  
 クロスドックセンターとは、お客様にお届けする製品を個別の配送トラックが在庫倉庫を廻って積込む方式にかわり、全ての出荷製品を1ヶ所に集め配送ルート毎に自動ソーターで仕分けの後、配送順に積込むクロスドック方式を実現するセンターであり、当センターの完成により、積込時間の短縮化を図り、お客様に迅速で確実な物流サービスの提供が図れるようになりました。

当センターは鉄骨造3階建て、総延べ床面積10,200坪で、1階にはソーターが設置され、2・3階は7,000坪のDC（在庫保管型）倉庫となり、福山配送センター、第一センター構内の1棟から4棟までの4ヶ所をコンベアで連結し、製品を1ヶ所に集約できるようになりました。



## 食品トレー容器などの配送拠点となる「八王子新配送・ピッキングセンター」が完成

平成26年10月、東京都八王子市戸吹町の戸吹北土地区画整理事業区域内に、「八王子新配送・ピッキングセンター」が竣工しました。

当センターは鉄骨造5階建て、総延べ床面積60,927㎡を有し、食品トレー容器や食品関連資材、消耗品を配送・ピッキングする機能を持っています。当センターの完成により、全国をフルカバーする物流ネットワークを再構築し、お客様の要望にも柔軟に対応できる体制が整います。また、衛生的な環境で高品質な物流サービスを全国レベルで提供してまいります。

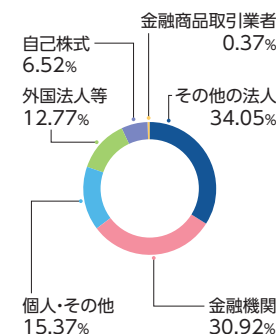


### \* 株式の状況

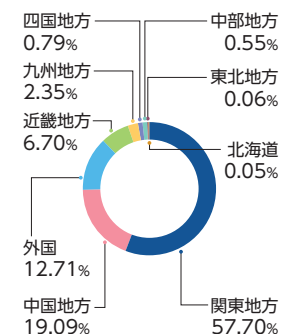
発行可能株式総数 120,000,000株  
 発行済株式の総数 44,284,212株  
 株主数 3,987名

### \* 株式分布状況

#### ◆所有者別



#### ◆地域別

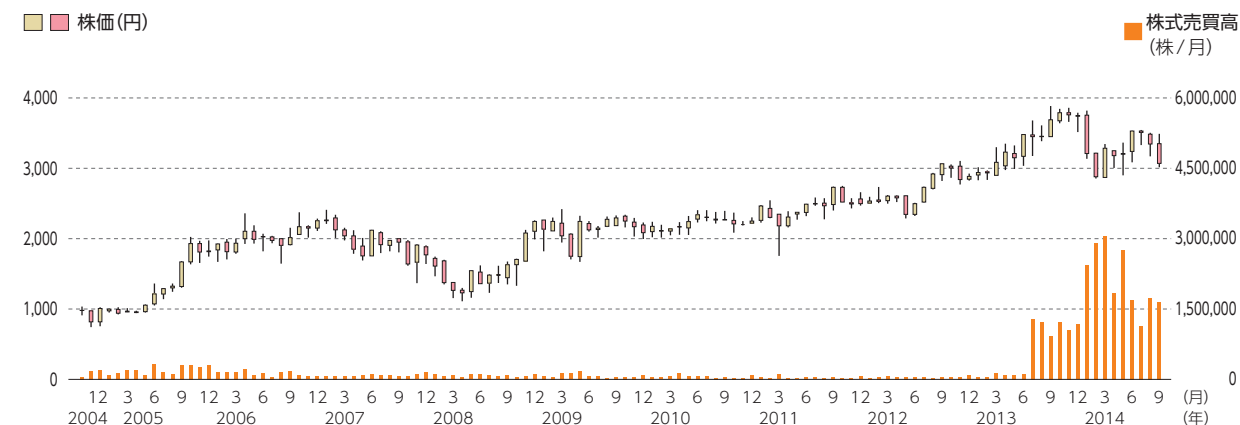


### \* 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社小松安弘興産	12,083	29.19
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,384	5.76
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,057	4.97
積水化成品工業株式会社	1,432	3.46
日本スタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託積水化成品工業口)	900	2.17
株式会社西日本シティ銀行	880	2.13
エフピコ共栄会	811	1.96
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	762	1.84
小松安弘	752	1.82
小松啓子	739	1.79

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、自己株式数(2,889,017株)を控除して計算しております。

### \* 株価の推移



※1 2013年6月までは大阪証券取引所、2013年7月以降は東京証券取引所における株価及び売買高を示しております。  
 ※2 2014年4月1日付で1株を2株に分割する株式分割を行っており、当該株式分割調整後の数値を記載しております。

## \* 会社の概況 (平成26年9月30日現在)

社 名 株式会社エフピコ  
FP CORPORATION  
本 社 〒721-8607  
広島県福山市曙町一丁目12番15号  
TEL 084-953-1145 (代表)  
東 京 本 社 〒163-6036  
東京都新宿区西新宿六丁目8番1号  
新宿オークタワー36F  
TEL 03-5320-0717 (代表)  
設 立 年 月 日 昭和37年7月24日  
資 本 金 13,150,625,630円  
企 業 集 団 の 当 社 グ ル ー プ は、簡 易 食 品 容 器 関 連 事 業  
主 要 な 事 業 内 容 及 び 商 事 関 連 事 業 を 営 ん で お り ま す。  
ホ ー ム ペ ー ジ <http://www.fpco.jp/>

## \* 取締役及び監査役 (平成26年9月30日現在)

代表取締役会長	小 松 安 弘	常務取締役	高 橋 稔
代表取締役社長	佐 藤 守 正	取 締 役	岡 恒 治
代表取締役専務	下 田 正 輝	取 締 役	佐 藤 修
専務取締役	高 西 智 樹	取締役(社外)	末 吉 竹二郎
常務取締役	池 上 功	取締役(社外)	緑 川 正 博
常務取締役	上垣内 詳 治	常 勤 監 査 役	唐 井 正 純
常務取締役	安 田 和 之	常 勤 監 査 役	瀧 崎 俊 男
常務取締役	永 井 信 幸	常 勤 監 査 役 (社外)	坂 田 幹 彦
常務取締役	江 崎 義 隆	常 勤 監 査 役 (社外)	中 居 敏 郎

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

## \* 株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日  
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日 3月31日  
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日 9月30日  
定 時 株 主 総 会 毎 年 6 月  
株 主 名 簿 管 理 人 三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 有 限 公 司  
特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関  
同 連 絡 先 三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 有 限 公 司 大 阪 証 券 代 行 部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)  
上 場 証 券 取 引 所 株 式 会 社 東 京 証 券 取 引 所  
公 告 の 方 法 電 子 公 告 に よ り 行 う。  
公 告 掲 載 URL <http://www.fpco.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他やむを得ない事由が生じたときは、日本  
経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店及び全国各支店でお支払いいたします。

## 上場株式等の配当等に関する『源泉徴収税率』変更のご案内

- ◆ 平成26年1月1日以降に支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として**20%**(所得税15%、住民税5%)の源泉徴収税率が適用されております。
- ◆ また、平成49年12月31日まで、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されております。

平成26年以降、上場株式等の配当等には、復興特別所得税を含め、**20.315%**<sup>(※)</sup>の源泉徴収税率が適用されております。

(※) 所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%

	平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所 得 税 (含む復興特別所得税)	7.147%	15.315%	15%
住 民 税	3%	5%	5%
合 計	10.147%	20.315%	20%

- 源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- 本ご案内は、上場株式等の配当等に係る税金について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。本ご案内は平成25年12月時点の情報をもとに作成しております。